

あさくち市
地域おこし
協力隊

協力隊新聞

浅口市地域おこし協力隊

第1号隊員紹介

好きなもの
果物

好きなこと
カフェめぐり

好きな動物
うさぎ



みなさん
よろしくお会い
します！

隊員第1号 あさくちまちこ 沖村舞子

これまで、古民家の再生のお仕事をしてきました。その経験が知識を生かして、空き家が空き店舗を活用して地域に『にぎわい』のある拠点づくりをしていきたいと思っておりまして、皆さんの力を御願い下さいます。よろしくお願ひ致します！



はじめまして！沖村です

はじめまして。「浅口市地域おこし協力隊」の沖村舞子です。今年の1月に神奈川県逗子市から移住してまいりました。現在、浅口市役所で協力隊第一号として活動しています。気がつくともう4月。毎日が楽しくあつという間に時がたつてしまいました。それもこれも浅口市の皆さんが、あたたかく迎えてくださったおかげです。本当にありがとうございます。今回は、初めての協力隊新聞の発行となりますので、地域おこ

し協力隊としての私の活動などもまじえて、ご紹介させていただきます。

地域おこし協力隊とは、都市部から主に農山村への移住を支援する総務省の事業で、地域外の人材を地域社会の新たな担い手として受け入れ、地域力の維持・強化を図ることを目的とした制度です。現在、全国およそ2700名の隊員がそれぞれの地域に合わせた活動を行っており、特産品の開発や、地元住民との交流イベントの開催など、さまざまな「地域おこし」が各地で展開されています。

協力隊の活動をスタート

現在私は、浅口市で初めての地域おこし協力隊として、町内会・自治会などのコミュニティの支援や、地域の資源をはじめとした浅口市のいいところを見つけてSNSなどで発信するPR活動などを行っています。着任して3カ月がたちましたが、着任後すぐの1月は浅口市を知ることからはじめようと、ぐるぐると市内を巡りました。浅口市の名産品を食べながら、金光饅頭や鴨方の手延べうどん、寄島の牡蠣などもたくさんいただきました。浅口市のことがいろいろと分かってきた2月は、浅口市コミュニティ推進協議会主催の「あさくち地域チャレンジトーク」の開催に向け、多くの地域の皆さんから自治組織運営についての話をお聞きし、町内会での地域コミュニティについて学ぶことができました。「チャレンジトーク」開催後の3月はそれぞれの地域の課題解決に向け、私が地域おこし協

力隊としてできることは何か？をより明確にするために、各地域でのサロン活動の見学や他の市町村での取り組みの話なども聞いて回りました。今後、少子高齢化が課題となっており、浅口市がイキイキと楽しく暮らしているまちであるためには、「地域の力」をもっと上げていく必要があると感じています。これから地域の皆さんのところにお邪魔し、お話を聞かせていただくことがあるかと思いますが、地域の自慢や地域を感じている課題などもたくさん私に教えてください。地域おこし協力隊としての任期は最長で3年となりますが、これからはどうぞよろしくお願ひいたします。



非公認のゆるキャラ「金光メイカ」と

地域チャレンジトーク Q&A

参加者の方からの質問について発表地区に聞いてみました！！

鴨方町 みどりヶ丘地区

●36名の役員の人数は多くない？

地域住民が全体で約1400人ですので、その中の36人は適切な人数だと考えています。今後、イベントの運営も含めて持続可能な視点で、任期や役割について検討していきたいです。

●交通の便について、今後の具体策は？

車がなくても、日々の買い物身近なところでできたらいいという声があるため、メインの通りの賑わいを取り戻すなど、皆さんの意見を集めていきたいと思っています。

金光町 須恵地区

●町内会非加入世帯に対して自主防災活動への参加の呼びかけはどうしているの？

防災部長や、区内に15ある支部の防災リーダーが協力し、地域での助け合いの重要性を非加入世帯に説明して参加を呼びかけています。

●若いリーダーに関わってもらう工夫は？

「将来の夢を語ること」「語ること」だと思います。それぞれの課題を共有することや、若いリーダーのやりたいことを地域でバックアップする体制も大切だと考えています。

寄島町 国頭地区

●中心となる事務局の構成や役割は？

現在9名で事務局を運営していますが、年齢構成は70歳代1名、60歳代4名、50歳代4名です。将来的には、40歳代で事務局員になってくれそうな方に声かけをしていきたいです。役割については年間行事の内容検討を行い、個々の行事ごとにそれぞれの組織に運営に関わる役割を分担しています。

●事務局の人は負担を感じていないの？

正直、負担にはなっていると思いますが、早く活動していただいております。大変ありがたいことと感謝しています。

ご参加いただいたみなさま、発表地区のみなさま、本当にありがとうございました！

今後も地域おこし協力隊としてサポートさせていただきます！



大募集！

- 次回、チャレンジトークで発表したい！
- 私たち、こんな取組みしています！
- 今度、こんな行事があるから取材に来て！
- こんなこと地区で困っているんだけど・・・

地区の楽しい行事や、困っている事ぜひ お気軽に声をかけ下さい！

☆ 古民家の情報も受付中 ☆

○お問い合わせ先○
浅口市役所 644-9034
地域創造課 chikiisozo@city.asakuchi.lg.jp (沖村まで)

○情報発信サイト○
星と海のまち いいね！
あさくち市地域おこし協力隊 Facebook
www.facebook.com/asakuchi.kyoryokutai

あさくち

みんなが地域のこともっと語ろう!

健康福祉センターで行われた会には市内から約60名が参加

旧3町から各地区が発表



発表地区はコチラ↑

2月27日、浅口市コミュニティ推進協議会主催の、『あさくち地域チャレンジトーク』が、市健康福祉センター(鴨方町鴨方)で開催されました。今回は、初めての開催という事で、金光町須恵地区・鴨方町みどりヶ丘地区・寄島町国頭地区の3つの地区から地域活動について発表していただき、みんなで課題解決のために話し合いを行いました。私は協力隊として、各地区の発表プレゼン資料の作成のお手伝いをさせていただきながら、3つの地区の自治体の運営についてたくさん勉強させていただきました。今回は、私の目線で捉えた各地区の課題や取組みについてこの場をもって、ご紹介させていただきます。

金光町 須恵地区

組織運営と住民間の積極的な関わりを重視した、地域づくりの取組みについて発表しました。

幹事会役員 柳田 真弘さん

○須恵地区○
人口：約 640 人
高齢化率：40.3%

新地区における自然活動の取組

『共助』による『安心』『快適』な地区を目指して

金光町須恵地区では、『共助』『安心』『快適』をスローガンに区長を筆頭として様々な組織のリーダーが積極的に関わり地域活動の助け合いの基となる『絆』を高め、世代を超えた交流や集まりを増やすことを念頭に活動されています。その仕掛けとして、地区社協が中心となっていて行っている「かかしロード祭り」や「おしゃべり喫茶」、こども会の「もち米プロジェクト」などがあります。また、自主防

災組織では、自治会非加入者も交えた「防災訓練」などの取組みを行っています。『チャレンジトーク』の参加者からは、組織の連携の仕方や運営をどのように行っているのか? 世代を超えた交流や集まる場づくりの仕掛けはどうなっているのか? などの多くの質問が寄せられました。各組織が連携し、多世代が一緒に地域活動に参加するスタイルは、今後の自治組織運営のモデルケースとなっていくのではないかと感じました。

浅口市コミュニティ推進協議会 主催 合同研修会 地域チャレンジトーク開催

寄島町 国頭地区

過去に台風被害にあった経験を教訓とした防災対策をはじめとした地域づくりを発表しました。

分館長 笠原 宏之さん



事務局を中心とした災害に強い地域づくり

寄島町国頭地区では、分館長(区長ともいふ)をトップに置き、事務局が中心となる組織運営に取り組んでいます。事務局を設け、役員の負担を軽減することにより各総代(班長)への連絡がスムーズに行き届くようになったそうです。平成16年に発生した台風16号によって高潮災害を受けたのを機に、不要家屋や避難時要介護者の確認ができる『防災マップ』を作成し、『避難訓練』や『土のうづくり』等の活動も行っています。また『ミニ運動会』や『秋祭り神事』を地域の中での大切な行事と位置づけ、地区住民みんなが参加しています。行事の運営を多世代が参加して行うことにより、普段から世代間のコミュニケーションも良好に行われています。しかし、山側の道路は狭いところが多く、駐車場の敷地も少ないために新たに地区に居住する人が少なく、若年層の減少が著しいのが現状です。持続可能なコミュニティの運営のためには空き家活用などにも目を向けていく必要があります。

イキイキとした暮らしを今後も続けていくために

鴨方町みどりヶ丘地区では、団地造成後、様々な地域から移り住んで来られた方たちで町内会のルールづくりを行い、駐車場や子育て環境の整備など、町内会を中心とした活動に取り組んでこられました。現在は、地区社協を中心にサロン運営が活発で『健康体操』や『お月見会』などの開催や月に1回『福祉の日』として専門家をお呼びして話を聞く会を行い、高齢者の方がイキイキとした健康的な暮らしができるよう活動しています。しかし、他の地区と比べて、

町内会の歴史が浅い分、よりスピーディーに地域の課題を解決していくかなければならぬのですが、一方で、今まで町内会活動を担ってきた世代の高齢化や、若い世代との交流が希薄になってきているという現状もあります。今後は、地域の課題をみんなが自分ごととして捉える事ができるような無理のないコミュニティ運営を行っていくことで、若い世代との交流の場を増やし、地区内の賑わいを取り戻すことがより重要となってくるのだと思います。

鴨方町 みどりヶ丘地区

昭和49年に造成された団地ならではの、課題やそれに対する取組みについて発表しました。

町内会長 宮本 紀子さん

○みどりヶ丘地区○
人口：約 1400 人
高齢化率：44.5%

みどりヶ丘 年代別人口

※記載の高齢化率は65歳以上の高齢者人口が総人口に占める割合で、2015年の日本全体の高齢化率は26.8%です。